

第八十二回帝國議會
衆議院

日本證券取引所法案外四件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
日本證券取引所法案(政府提出)(第三八號)
市街地信用組合法案(政府提出)(第三九號)
外貨債處理法案(政府提出)(第四〇號)
爲替交易調整特別會計設置等爲替交易調整法案(政府提出)(第四一號)
特殊財産資金特別會計法案(政府提出)(第四二號)

昭和十八年二月十八日(木曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山本 厚三君

理事古田喜三太君 理事山田 順策君
理事吉田敬太郎君 理事渡邊善十郎君
小笠原三九郎君 小田彦太郎君
奥野小四郎君 篠原 陸朗君
田中 藤作君 鶴 惣市君
中村三之丞君 中井 一夫君
永野 護君 濱野 清吾君
箸本 太吉君 廣野規矩太郎君
松田 正一君 三木與吉郎君
桃原 茂太君 吉川 大介君
渡邊 泰邦君 加藤 鯛一君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 岩村 通世君
大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 森山 銳一君
大藏省理財局長 田中 豐君
大藏書記官 森永貞一郎君
大藏書記官 阪田 泰二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本證券取引所法案(政府提出)
市街地信用組合法案(政府提出)

外貨債處理法案(政府提出)
爲替交易調整特別會計設置等爲替交易調整法案(政府提出)
特殊財産資金特別會計法案(政府提出)

○山本委員長 是ヨリ開會致シマス、此ノ際清算取引ニ付キマシテ大藏大臣ニ御確カ

算市場ノ設置場所ハ極メテ少數ノ場所ニ限定スル方針ナリト云フガ、何處ニ設置スル考ヘデアリマスカ
○賀屋國務大臣 清算市場設置ノ場所ハ今後ソレノ手續ヲ經テ決定スベキ問題デアリマスガ、只今ノ所東京及ビ大阪ニ清算市場設置ノ認可ヲナスヲ適當ト考ヘテ居リマス

○山本委員長 政府ハ清算市場設置場所ヲ東京、大阪ノ二箇所トスル方針ナリト言ハレルガ、將來情勢ノ變化アル場合ニ、他ノ場所ニモ設置スルコトヲ考慮シテ居ラレカ如何デスカ
○賀屋國務大臣 清算市場ノ設置場所ハ現在ノ所東京、大阪ノ二箇所ヲ適當ト考ヘテ居リマスガ、御話ノヤウニ將來情勢ニ變化ガアリマシテ、他ニ清算市場ヲ設置スルノガ適當ト認メラレル場合ニ於キマシテハ、其ノ設置ニ付キマシテ考慮ヲ致スコトハ勿論デアリマス

○山本委員長 次ニ司法大臣ニ御尋ネラ致シタイト思ヒマス、過日來問題トナツテ居ル本案ノ罰則規定ハ著シク輕キノ憾ミガアリマス、或ハ他種ノ刑罰トノ關係モアルカモ知レマセヌケレドモ、之ニ對スル政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ
○岩村國務大臣 只今御尋ネノ點ニ對シマシテ、政府ヲ代表致シマシテ御答ヘ申上ゲマス、御指摘ノ本案ノ罰則規定ノ刑罰ニ付キマシテハ、其ノ罪質ニ鑑ミ必ズシモ其ノ罪輕シト即斷スルコトモ出來ナイト存ジマス、併シナガラ廣ク經濟統制違反事件ニ對スル現行各種ノ法令ノ刑罰ガ區々ニナツテ居リマシテ、其ノ間トモスレバ權衡ヲ失スルモノモ確カニアルト存ズルデアリマス、ソレハ各種ノ法令ソレノ性質ヤ其ノ成立ノ事情ノ異ツテ居リマス關係モアリマシテ、一應ハ已ムヲ得ナイコトデアリマスルガ、斯クノ如キ不權衡ノ存スルコトハ、決シテ法律生活ノ安固ヲ期スル所以デハナク、國民ニ疑惑ヲ生ゼシメルコトモアリ得ベキヤニ考ヘルデアリマス、仍テ政府ニ於テハ右ノ調査ヲ圖ル爲メ、特ニ司法省ニ於テ早速、其ノ調査研究ニ當ルコトニ致シマシテ、右ノ專業ニハ官廳側ノミナラズ廣ク民間ノ權威者ニモ參加ヲ願フ積リデアリマス、即チ斯クシテ銑後ニ於ケル國民生活

ノ明朝ヲ期スル所存デアリマシテ、之ニ付キマシテハ、能ク御趣旨ヲ體シテ十分努力ヲ傾注シタイト考ヘテ居リマス
○山本委員長 只今ノ御答辯ニ依ツテ政府ノ御方針ガ分リマシタガ、其ノ調査ニハ貴衆兩院議員ヲモ含マレル御考ヘデアリマスカ、如何デスカ
○岩村國務大臣 御答ヘ致シマス、貴衆兩院議員ノ方々ニモ必ズ御參加ヲ願フ積リデゴザイマス
○山本委員長 其ノ調査ハ出來ルダケ急速ヲ要スルト思ヒマスルガ、其ノ結果ニ基イテ之ヲ次期議會ニ改正法律案トシテ提案セラルル御積リデアアルカ、如何デスカ
○岩村國務大臣 御答ヘラ致シマス、出來ルダケ早く成案ヲ得マシテ來議會ニ改正法律案ヲ提出ノ運ビト致シタイト存ジマス

○山本委員長 政府ノ御方針ハ能ク分リマシタガ、只今ノ司法大臣ノ御答辯ハ其ノ御言葉ノ中ニモアリマシタ如クニ、政府ヲ代表シテトアリマシタ、事重大ナ問題デアリマスルカラ勿論一司法大臣ノ御答辯ニアラズシテ、國務大臣トシテ政府代表ノ御答辯ト承知ヲ致シテ置キマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス
○岩村國務大臣 左様ヲ考ヘデ申上ゲタノデアリマス、御諒承願ヒマス

○山本委員長 ソレカラ是ハ大藏大臣ニ御尋ねスルノデアリマスルガ、本法案第十九條ノ命令ヲ以テ定ムル者ト云フ中ニハ、當該官吏ヲ含マシムル御積リデアアルカ、如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 大體七十九條ノ有價證券取引委員會ノ會長、委員、幹事ヲ豫定シテ居リマス、其ノ中ニハ當然關係官吏モ入ルノデアリマスルガ、要スレバ當該官吏ヲ規定中ニ入レルコトニ致シタイト存ジマス

○山本委員長 是ニテ質問ハ終了致シマシタ、是ヨリ討論ニ入りマス、先ツ最初ニ日本證券取引所法案ヲ議題ニ供シマス——吉田君

○吉田(敏)委員 今回政府ノ提案セラレマシタ日本證券取引所法案ナルモノハ、其ノ提案ノ理由ニ明示セラレテアリマスルガ如ク、經濟的決戰態勢ノ一翼ト致シマシテ、國家目的ニ即應セル證券取引所機構ヲ確立シ、以テ大東亞戰爭完遂ニ寄與セラレントスルモノデアリマシテ、立法ノ根本的趣旨ニ於キマシテ、又法案自體ノ構成ニ於キマシテモ、罰則ノ一部ヲ除キマシテハ、洵ニ當然且ツ時宜ニ適シタル提案デアリマシテ、衷心ヨリ贊意ヲ表スル者デアリマス、但シ本案ハ其ノ骨格ヲ表示シ、大綱ノミヲ規定スルニ止マツテ居リマシテ、其ノ血トナリ、肉トナルベキ内容實體等ハ擧ゲテ之ヲ勅令又ハ命令等ニ俟ツコトニナツテ居リマスノデ、萬一其ノ運用ノ面ニ於キマシテ適性ヲ缺ク如キコトガアリマスレバ、却テ折角ノ立法ノ御趣旨ニ反シ、政府ノ所期セラレマシタ目的ヲ却却スルガ如キ結果ヲモ招來シ易イノデアリマス、即チ本法案ガ劃期的大改革デアリマスル程、其ノ一般經濟界

ニ及ボス影響モ廣汎且ツ深甚ナルモノガアリマスノデ、此ノ案ノ持ツ重大性ニ鑑ミ、以下二、三ノ點ニ付キマシテ、特ニ政府ノ注意ヲ喚起シ、熟慮ヲ要望シ、以テ立法ノ目的實現ニ萬遺憾ナキヲ期待スル次第デアリマス、例ヘバ證券取引所ノ設置場所ノ選定、取引方法、賣買方法ノ内容等ハ、其ノ選定ノ適否如何ニ依リ、直チニ以テ本法案ノ成敗ヲ決スルト申シマシテモ敢テ過言デハナイノデアリマス、然ルニ遺憾ナガラ委員會ニ於ケル是等ノ諸點ニ對シマスル當局ノ御説明ハ、洵ニ鄭重、御懇切デアリマシタガ、未ダ以テ全委員ヲシテ十分首肯セシムル程度ニハ至リ得ナカッタノデアリマス、即チ取引市場ノ設置ノ如キハ、少クトモ全國各地區ノ地理的、經濟的特殊性ヤ、將來ノ發展性ヲ考慮スルト共ニ、他國國土計畫トモ配合セ、敢テ過去ニ泥マズ、現狀ニ捉ハレズ、廣ク大東亞共榮圈確立ノ將來性ヲモ洞察セラレテ、全國樞要ノ地方ニ適當配置セラルベキモノト確信スルノデアリマスルガ、之ニ對スル當局ノ説明デハ、現在ノ十一箇所ノ證券取引所ヲ大體現物取引市場トシテハ認ムルモ、清算取引ハ東京、大阪ノ兩市以外ニハ大體御許シニナラヌカノヤウニ拜聽致シタノデアリマス、併シナガラソレデ果シテ眞ニ各地區ノ取引所ノ機能ガ萬全ノ效果ヲ發揮シ得ルデアラウカ、甚ダ疑ヒナキヲ得ナイノデアリマス、元來政府ハ今回ノ改革ニ際シテモ、清算取引ノ弊害ヲ認メツツモ尙且ツ是ガ棄テ難キ一面ノ長所アルヲ確認シテ、取引方法トシテ採用セラルル以上、獨リ之ヲ東京、大阪ノ兩所ニノミ限定セラルルハ如何カト思ハレルノデアリマス、政府ハ價格ノ構成作用ヲナスニハ、兩所ノ

ミヲ以テ足ルト稱セラルルモ、取引所ノ機能ハ獨リ價格ノ適正ナル形式ノミニアラズシテ、地方産業資金ノ吸收、證券ノ圓滑ナル流通等ヲ計ル爲カラ致シマシテモ、況ンヤ中樞の大都市ヘノ空襲ノ場合等ヲモ考察セラルル此ノ際、斯ノ如キ經濟的重要機關ノ適當ナル地方分散配置コソ十分研究吟味セラルベキデアリカト思ハレルノデアリマス、又政府ハ過當投機ヲ大ニ警戒排除セシガ爲、清算市場ハ極力之ヲ少數ノ場所ニ限定シ、以テ監督ノ便ヲ容易ナラシメタシトノゴトデアリマスガ、全國取引高ノ約七〇%ヲ占ムル兩市場ヲ認メ、殘餘ノ三〇%ヲ占ムル地方取引所ノ弊害ヲ恐ルルノ餘リ、之ヲ認メ得ナイトスルノ理由ハ、餘リニモ論據薄弱カト思ハレル節モアルノデアリマス、況ンヤ政府ハ本法案外ニ色々ノ二重、三重ノ嚴格ナル監督法規ヲ把握セラレテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ點十分ニ今一段ノ御考慮ヲ要スルモノト思ハレルノデアリマス、最後ニ罰則ノ一部ニ付キマシテハ、先般來吾々ノ此ノ委員會ニ於キマシテ色々修正の希望意見ガアツタノデアリマスルガ、是ハ本法施行ノ曉ニ於キマシテ、取引所關係役員ノ持ツ重大ナル國家的責任ニ鑑ミ、當然負荷セラルベキ事項デアリマシテ、論ヲ俟タザル點ト思ハレルノデアリマスガ、只今司法大臣ヨリ特ニ政府ヲ代表シテ、適當且ツ迅速ニ御善處アルベキ旨ノ御話ガアリマシタノデ、吾々委員ト致シマシテハ政府ノ御方針ヲ信賴致シマシテ、此ノ修正ハ見合セルコトニ致シタイト思ヒマス、刑罰法規ノ改正ニ對スル大臣ノ本日ノ御答辯ハ、單ニ大藏大臣ノミデナク、司法大臣ノミデナク、政府全體トシテノ御意見ノ御發

表ナリト仰セラレテ居リマシタノデ、特ニ意ヲ強クシタノデアリマス、此ノ點當局ヲ信賴致シマシテ、一應修正ノ意見ハ撤回致シマシテ、原案通り承認申上ゲマスガ、當局ハ出來ルダケ速カナル機會ニ於キマシテ、十分慎重御研究ノ上ニ御善處アラシコトヲ希望スル次第デアリマス

ソレカラ最後ニ第七十九條ノ有價證券取引委員會ノ構成ニ於キマシテモ、是ハ此ノ運用ノ面ニ於ケル本當ノ機能ヲ發揮スルヤウニ構成シテ戴キタイトノデ、其ノ點ニ格別ノ御注意ヲ拂ハレマシテ、單ナル形式的ナ委員會ニ墮セザルヤウ、權威アルモノニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、以上所信ノ一端ヲ披瀝致シマシテ、本員ハ政府當局ノ將來ニ對スル十分ナル善處方ニ滿幅ノ信賴ヲ持シマシテ、本案ノ成立ニ贊意ヲ表スル次第デアリマス

○山本委員長 吉田君ノ御意見ハ原案賛成デアリマスルガ、御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本委員長 異議ナシト認メマシテ原案ノ通り決定致シマシタ
次ニ市街地信用組合法案外三件ヲ一括議題ニ供シマス——古田君

○古田委員 只今議題トナリマシタル市街地信用組合法案外三件ニ付所見ヲ申上ゲタイト存ジマス、市街地信用組合法案ハ多年要望セル問題デアリマシテ、戰時下一般庶民金融機關ノ重要性ニ鑑ミ國民貯蓄増強ニ一段ノ拍車ヲ加ヘラレタルコトハ洵ニ機宜ニ適シタル處置デアアルト存ズルノデゴザイマス、市街地信用組合ハ、都市ニ於ケル中小商工業者及ビ勤勞者ノ唯一ノ金融機關トシテ中小商工業ノ向上發展ニ協力シ、殊ニ

表ナリト仰セラレテ居リマシタノデ、特ニ意ヲ強クシタノデアリマス、此ノ點當局ヲ信賴致シマシテ、一應修正ノ意見ハ撤回致シマシテ、原案通り承認申上ゲマスガ、當局ハ出來ルダケ速カナル機會ニ於キマシテ、十分慎重御研究ノ上ニ御善處アラシコトヲ希望スル次第デアリマス

ソレカラ最後ニ第七十九條ノ有價證券取引委員會ノ構成ニ於キマシテモ、是ハ此ノ運用ノ面ニ於ケル本當ノ機能ヲ發揮スルヤウニ構成シテ戴キタイトノデ、其ノ點ニ格別ノ御注意ヲ拂ハレマシテ、單ナル形式的ナ委員會ニ墮セザルヤウ、權威アルモノニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、以上所信ノ一端ヲ披瀝致シマシテ、本員ハ政府當局ノ將來ニ對スル十分ナル善處方ニ滿幅ノ信賴ヲ持シマシテ、本案ノ成立ニ贊意ヲ表スル次第デアリマス

○山本委員長 吉田君ノ御意見ハ原案賛成デアリマスルガ、御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本委員長 異議ナシト認メマシテ原案ノ通り決定致シマシタ
次ニ市街地信用組合法案外三件ヲ一括議題ニ供シマス——古田君

○古田委員 只今議題トナリマシタル市街地信用組合法案外三件ニ付所見ヲ申上ゲタイト存ジマス、市街地信用組合法案ハ多年要望セル問題デアリマシテ、戰時下一般庶民金融機關ノ重要性ニ鑑ミ國民貯蓄増強ニ一段ノ拍車ヲ加ヘラレタルコトハ洵ニ機宜ニ適シタル處置デアアルト存ズルノデゴザイマス、市街地信用組合ハ、都市ニ於ケル中小商工業者及ビ勤勞者ノ唯一ノ金融機關トシテ中小商工業ノ向上發展ニ協力シ、殊ニ

軍需工業關係ノ資金融通ニ對シテハ、戰力
増強ノ意味ニ於テ極力援助致シテ居ルノデ
ゴザイマス、他面又貯蓄獎勵ノ爲ニハ隣組
及ビ町内會ト緊密ナル連絡ヲ執リ、全機能
ヲ發揮シテ零細ナル貯金ヲ集メ、眞ニ涙ダ
マシキ活動ヲ續ケテ居ルノデアリマス、其ノ
結果、昨年末ニ於テ全國組合數二百八十六、
組合員數ニ於テ五十一万八千餘人、貯金ニ
於テ實ニ十二億圓ニ達シテ居ルノデアリマ
シテ、其ノ大部分ハ國策ニ順應シテ、公債
消化ニ極力協力致シテ居ルノデゴザイマ
ス、從來ハ農林、大藏兩省ノ共管ノ爲ニ、
常ニ差別待遇ヲ受ケテ居ツタノデアリマ
ス、即チ其ノ一例ヲ申セバ、銀行信託等ハ
支店新築開業ハ許可サレテ居ルニモ拘ラズ、
之ニ反シ市街地信用組合ハ事務所ノ狹隘
ヲ告グルモ、是ガ改築サヘ許サレズ、又
地域のノ制限、子會社ヘノ金融制限等、消
極的指導ノ下ニ遺憾ノ點ガアツタノデアリ
マスガ、今回幸ヒニ大藏省ノ專管ニナリ、
是等障碍ノ大部分ハ除去セラレマシタガ、
尙ホ一層庶民金融機關タルノ特質ノ機能ヲ
助長發展スベク、積極的御指導アランコト
ヲ熱望致ス次第デゴザイマス

次ニ爲替交易調整特別會計法案ハ、交易營
團ト密接不離ノ關係ニアリマシテ、此ノ運
營如何ハ直チニ戰力増強ニ重大ナル影響ヲ
及ボスモノデアリマス、故ニ其ノ執行ニ當
リマシテハ、交易營團ト能ク協調、敏速果
敢ニ行動セラレテ、所期ノ目的ヲ達成セラ
レンコトヲ希望致スモノデアリマス、尙ホ
外二件ニ付キマシテモ、執行ニ當ツテハ萬
違算ナキヲ期セラレタイト存ジマス

以上四件ノ法律案ハ、何レモ原案ニ贊成
ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○山本委員長 古田君ノ原案贊成ノ意見ニ
御異議アリセマヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○山本委員長 御異議ナシト認メマス、仍
テ此ノ四案ハ原案ノ通り可決確定致シマシ
タ、是ニテ本委員會ニ付託セラレタ議案ハ五
件トモ原案ノ通り可決確定サレマシタ

此ノ際委員長トシテ委員諸君ニ一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、本委員會ニ付託セラレマシタ議案ハ何レモ時局下最モ重大ナル法案デアリマシテ、其ノ内容ニ至リマシテモ非常ニ複雑ヲ極メテ居ル問題デアリマシテ、其ノ間皆サシノ非常ニ御熱心ナル御審議ニ依リマシテ、十分ニ審議ヲ盡スコトガ出來マシテ、茲ニ滿場一致ノ決議ヲ致スニ至リマシタコトハ、洵ニ諸君ノ御精勵ノ賜モノトシテ、委員長ト致シマシテ厚ク感謝致シマス、此ノ際一言御挨拶ヲ申上ゲマス(拍手)是ニテ閉會致シマス

午後一時五十四分散會

昭和十八年二月二十日印刷

昭和十八年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局